



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年6月4日 第3号

文責：校長 佐藤 正貴

運動会を終えて・・・

平成31年度と令和2年度で大きく変わった行事が運動会です。それまでは終日開催が普通でしたが、令和2年度からは、大規模校は短時間の分散開催、令和5年度からは全体での半日開催となりました。今年もそれを踏襲する形で実施しました。恐らく、今後もこの形式だろうと思っています。実は、私は平成31年以前に運動会の半日開催を経験したことがあります。当時はp m 2.5が大きく話題に上っていた時期でもありました。運動会当日は高い濃度が予想されたため、学校長が半日開催の判断をされました。保護者の方からは、弁当を作る手間が省けたことがありがたかったという意見もあれば、地域の重鎮方？からは「これが運動会？」という厳しい意見もいただきました。

保護者の負担や働き方改革など、社会の流れを見れば終日開催に戻ることはないだろうと考えています。しかしながら、私自身、半日開催の運動会は現状でいいのか若干の疑問を持っています。まだ半日開催に見合うような具体的な工夫が十分ではないのではと感じています。勿論、現状が駄目だということではありません。今年の運動会では、6年生の児童を中心に各団共に応援の練習を行ったり、各学年が行う種目の練習も一生懸命に取り組んでいる姿を見ることができました。徒競走・表現運動・団体競技・リレー・応援合戦では、児童個々に熱量を感じました。人が頑張っている姿は、周りに元気を与えてくれることを改めて感じました。また、高学年の児童は、自分たちの力で運動会を盛り上げていこうとしていましたし、職員は児童が主体となって輝くことができるように取り組んでいました。体育主任の釜教諭は、皆があまり好きではない全体練習（開閉開式）をできるだけ少なくしようと取り組んでくれました。学校全体で、それぞれの立場で少しずつの工夫ができていました。そんな姿を見ていると、何か新しい工夫ができないかという思いが込み上げてきます。今後の課題にしていきます。

最後に、今年の運動会の取組で、児童の姿が大きく変容したことを感じた日がありました。6月20日（月）です。6年生の姿が大きく変わりました。6月19日（日）は、西合志中学校の体育大会でした。中央小の児童もたくさん応援に来ていました。私が感動したのは、中学生の声が揃っていること、応援団の演技が揃っていることでした。帰り際に高学年の児童に体育大会の感想を聞きました。「格好よかった。まねしたい。」と絶賛でした。翌日の全体練習で6年生の姿が変わっていました。次の練習で変わった姿が下級生に広がっていました。中学生の姿を見てまねしたいと思う児童が出てきて、まねをすることで学校に広がっていく様子を見ることができました。とても嬉しかったです。合志市で取り組んでいる小中一貫教育が目指している1つの姿だと思いました。

運動会の頑張りです。どの学年も精一杯の動きが格好よかったです。

